

「fukushima さくらプロジェクト」を通じて、福島・東北を応援

復興のシンボル新種のさくら「はるか」を 茨城県坂東市内の保育園などに寄贈

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、東日本大震災の被災地への復興支援の一環として参加している「fukushima さくらプロジェクト」※1において、今回で3回目となる福島発の新種のさくら“はるか”※2の苗木の寄贈を茨城県坂東市にて行いました。コーセーの創業者である小林孝三郎が明治末期に生まれ育ったゆかりの地であり、坂東市(当時はさしまぐん猿島郡)においても、“3000本の桜並木を作ろう”と、2010年より「桜の里親制度」をスタートしている事から、創業70周年を迎えた当社様の様々な取り組みの一環として、2017年2月7日に3ヶ所の保育施設にてさくらの植樹を実施いたしました。



【「認定こども園ひまわり」のさくらの植樹】



【「小山保育園」のさくらの植樹】

当社は2013年より、復興の象徴となる福島発の新種のさくら“はるか”を、全国各地に届けることで、被災地福島・東北を継続的に応援する「fukushima さくらプロジェクト」に参加しています。同年8月からは、当社ならではの取り組みとして化粧品の販売を通じたキャンペーン※3実施を通じて、“はるか”の増殖を支援し、2015年に福島県会津若松市「会津若葉幼稚園」、2016年に千葉県浦安市「入船小学校」へさくらの苗木を寄贈・植樹しました。

今回は、坂東市内の3ヶ所の保育施設に苗木を寄贈するため、それぞれの園にて植樹式が行われました。認定こども園ひまわりでの植樹式には、吉原英一坂東市長、株式会社コーセー常務取締役 花形和昌が挨拶をし、被災した地域に思いを寄せ、さくらの成長を見守ることにより、命の大切さについて考えるきっかけにつながることを願いました。また、小山保育園、認定こども園あかつき保育園では坂東市 内桶博仁教育長が被災地の復興とさくらの成長を願い、「みんなもよく食べ、よく遊び、お勉強もして、さくらの木に負けないように、立派な人間になってください。」と挨拶され、園児達と一緒に植樹を行いました。

当社では、今後も福島で生まれた新種のさくら“はるか”を全国各地に届けることで、復興支援の輪を全国に広げる活動を行っていきます。そして、この「fukushima さくらプロジェクト」を通じて、被災地の復興を継続して応援していきます。今後も引き続き、新しい小さな桜の木が、未来の子供達の夢や希望と共に育つことを願い、幼稚園や小学校などを中心に苗木を寄贈し、植樹していく予定です。

《植樹の概要》

日時:2017年2月7日(火) 10時00分～14時40分

場所:茨城県坂東市内

認定こども園ひまわり(坂東市辺田 1188-3)

小山保育園(坂東市小山 123)

認定こども園あかつき保育園(坂東市大谷口 1037)

内容:苗木の贈呈、植樹、記念品贈呈

主催:坂東市

■認定こども園ひまわり



【吉原坂東市長挨拶】



【「認定こども園ひまわり」の園児達】

■小山保育園



【内桶教育長挨拶】



【「小山保育園」の園児達】

■認定こども園あかつき保育園



【「認定こども園あかつき保育園」のさくらの植樹】



【「認定こども園あかつき保育園」の園児達】

■吉原英一坂東市長挨拶の要旨

今日は「はるか」という桜を植えに来ました。みんなで可愛がってあげてください。日頃みんなのお母さん、おばあちゃんが鏡に向かってお化粧をしている姿を見ていると思いますが、お化粧品はキレイになるためとても大事なことなのです。そのお化粧品を作っている会社を作った人は、ここ坂東市で生まれました。そして、世界中の女の人をキレイにしようと努力して会社を大きくしました。とてもすごいことです。また、東日本大震災という大変な地震の被害にあった被災地の復興を願い、福島県で育ったさくらの赤ちゃんをみんなの園に植えに来てくれました。是非みんなで育てて大きくしてあげてください。

※1 fukushima さくらプロジェクトについて

「fukushima さくらプロジェクト」は、東日本大震災の被災地、福島・東北を継続的に応援するために、多数の企業の参加により、様々な広報活動を行うプロジェクトです。その取り組みの一つとして、福島発の新種の桜を、全国各地に届けることにより、福島への関心を高め、復興を応援する気運を全国に広げる活動などを行っています。

<http://www.fukushimasakura.jp/>

※2 新種のさくら「はるか」について

「はるか」は、森林総合研究所が開発し、福島県に贈られた新しい桜で、福島・東北を応援するシンボルとして、福島・東北の復興と共にはるかかなたの未来にまで広がって、大輪の花を咲かせてほしいという想いをこめて名づけられました。

※3 fukushima さくらプロジェクト 当社ならではの取り組みについて

当社では、2013年から「fukushima さくらプロジェクト」の“福島発の新種の桜”が復興の象徴となって、被災地と全国の方々が強い“絆”で結ばれることを願って、福島・東北の応援を続けています。

◇当社のさくらプロジェクトの取り組み <http://www.kose.co.jp/company/ja/csr/special2/>

■苗木増殖について

苗木は、福島県林業研究センターに建設された、専用の苗木の養生ハウスで増殖しています。



【養生ハウスの様子・苗木の様子】

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセイ 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)